

# 中日会報

公益社団法人 中部日本書道会  
編集事務局 名古屋市  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45-19  
桑山ビル8階C号室  
電話 (583) 19000番  
FAX (583) 1910番  
http://www.cn-sho.or.jp  
info@cn-sho.or.jp  
印刷 株式会社 荒川印刷

## 理事長挨拶



理事長  
伊藤仙游

厳しい暑さに悩まされた夏も過ぎ、抜けるような青空の清々しい季節となりました。会員の皆様にはご健勝にお過ごしのことと存じます。

九月初旬に到来した台風十号は、経験したことのない強い暴風を九州地方にもたらし、自然の猛威に恐れを感じずにはおられませんでした。また、今年初めよりのコロナウイルス感染症はまだまだ終息をみず、私達の生活に大きな影を落としています。

しかしながら、GoToトラベル・GoToイートなど経済活動を奨励する政策も執られはじめており、もちろん感染症対策が万全であることが前提ですが、少しずつ明るい方向へ社会が動き始めているようです。

八月号でも申し上げましたが、中部日本書道会の下半期の事業は、対策をしっかりと

と取りながら実施していく方針です。今年度延期となりました中日書道展は、来年度に第七十回記念展として実施すべく準備を始めておりますので、皆様方のご協力を是非ともお願い申し上げます。

### ※本年末までの事業日程

- ・第三十二回書道教育研修会(十月十八日)
- ・名古屋国際センター 五階 第一会議室
- ・第二十四回公開講座 (十一月十五日)
- ・電気文化会館 五階イベントホール
- ・令和二年度書の匠展・第二十九回書展
- ・電気文化会館 五階東西ギャラリー
- ・会期 十一月十日から十五日まで
- ・チャリティー愛の募金
- ・十一月末日までにご利用します。

### ※令和三年二月開催予定の評議員会について

では、情勢を鑑みて決定いたしますので、後日ご連絡致します。理事会についても同様です。

コロナ禍の中、皆様にはご協力ご支援を賜り心から御礼申し上げますと共に、今後とも何卒宜しくお願い致します。

## 「令和2年 チャリティー愛の募金」について

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は、本会の福祉事業に対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本会では、毎年年末に「チャリティー愛の募金」を行っております。

つきましては、本会役員の先生方並びに会員の皆様には広く献金をお願いし、中日新聞社会事業団・東海テレビ「愛の鈴」へ寄託をして参りたいと思います。何卒主旨ご理解の上、下記の通りご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この募金の締め切りを、令和2年11月末といたします。

払込用紙を同封させていただきましたのでよろしくお願い申し上げます。

尚、献金の経過並びにご芳名は1月発行の中日会報でご報告をさせていただきます。

敬 具

理事長 伊藤仙游  
渉外宣伝部長 川崎尚麗

### 目次

- 1 理事長挨拶 理事長 伊藤仙游  
チャリティー愛の募金
- 2 特別寄稿 中京の文化環境  
・名誉顧問 西嶋慎一先生
- 3 令和二年度書の匠展  
第二十九回書展
- 4 行事予定表「十月〜三月」
- 5 第二十四回書の魅力 公開講座
- 6 第三回手書き文字年賀状作品募集  
第七十一回 中日書きぞめ展作品募集
- 7 支部だより(上半期)

### 団体署名実施協力中

つなごう日本の書道文化  
ユネスコの無形文化遺産に



### ご献金にお願いの基準

名誉会長代行、名誉副会長、常任顧問、理事、 監事、顧問	10,000円
参与、評議員	3,000円
正会員	1,000円

チャリティー募金は寄付金として控除できます。

確定申告時には、領収書と証明書が必要です。領収書をご希望の方は本部事務局までご連絡ください。

証明書は中部日本書道会ホームページから印刷できます。  
ホームページ <http://cn-sho.or.jp/> メール [info@cn-sho.or.jp](mailto:info@cn-sho.or.jp)

# 特別寄稿 中京の文化環境

名誉顧問 西嶋 慎 一



コロナ禍で書の世界も活動が止まってしまった。中京の書道界にとっても重要な行事である「中日書道会展」が中止の憂き目を見た。研究会や練成会も開くことが出来ず、困惑されている方々も多いことと思われる。

しかし、ここで一休みして中京書道界や、その背景を成して来た文化環境の特徴を、この際顧みてはどうか。その文化環境が知らず知らずに中京書道を育てている。

中京は茶道が盛んな地域だ。抹茶の消費量は愛知県が全国一と聞いたことがある。

煎茶も中京では盛んである。南画家の本梅逸、八橋完茶こと笠原方巖など煎茶に縁り深い名を聞かれることも多いのではないか。半田には煎茶世界で著名な中笠家がある。

この抹茶と煎茶が、中京の書道を支える重要な文化環境ではないのか。まず抹茶だが、尾張の抹茶は「古筆茶」

と呼び習わされる程に古筆を重んじる。大茶人の如春庵森川勘一郎が尾張の抹茶世界をこう特色づけた。森川は十代からこの世界にのめり込み、東京の大茶人益田鈍翁、古筆專家田中親美に可愛がられた。

大正十四年五月十七日から十九日にかけて、市立名古屋図書館(現鶴舞中央図書館)で「上代仮名展覧会」が開かれた。森川勘一郎と敬和会主催である。高野切、本阿弥切、小島切、寸松庵色紙、継色紙など古筆を網羅する一二八点が展示された。本願寺三十六人集と元永本古今集の田中親美模写本も参考品として並ぶ行きとどき方だ。

実はその前年の大正十三年十一月、恩賜京都博物館では「上代様展覧会」を開いていた。上代様の名手として知られた出雲路敬通の差配だ。京都の蔵品を中心とした五四点が出品された。古筆を総合的に、しかも博物館という公共施設で展示した初の企画であった。

名古屋での「上代仮名展」は、この京都での展示に刺激された企画ではなかったか。「古筆茶」本家の意地を見せようとしたのだろう。出品点数は京都の倍で、古筆の権威益田鈍翁、田中親美の援助を受けたから、森川、関戸、富田家等の中京蔵品だけでなく、全国から粒選りの古筆を蒐め得た。

この時代、東京では益田鈍翁主催の大師会が、寸松庵や継色紙の大展覧を開いていた。しかし、それは一部趣味家に見せる催しで一般向けではなかった。公共図書館で開いた森川等の先進性が光る。この先駆者の努力を、中京の作家は忘れてはいけない。

煎茶席の道具類には中国渡来の唐物が珍重される。煎茶が盛んになりだした文化文政年間頃から、倪元璐、張瑞図、王鐸などの書幅が煎茶の床飾りとして珍重される。

半田の醸造名家中楚氏は、煎茶の世界で大きな存在である。明治二十七年に四代目中笠又左衛門が催した煎茶会の茶会記「淇水翁薦事図録」が煎茶界の中国趣味を良く表わす。床飾りに黄道周・草書七絶絹本、傅山・草書七絶絹本が登場する。

この会記は一帙三冊だが、その三冊目はすべてが展覧された明清書画の目録で、総数二六四点にも上る。倪元璐が四点、張瑞図が三点も出ている。

書の世界で重んじられるこれ等明末清初諸家の作品が、明治末年に、中京で鑑賞さ

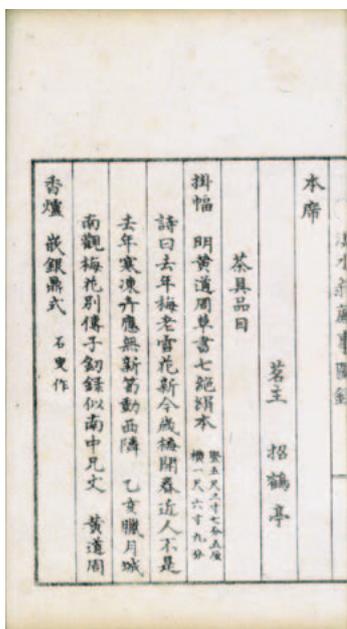
れていた事実を、諸兄弟は認識すべきだ。かような先人の輝かしい鑑賞の歴史を一つの糧として、中京の書家諸君は成長して欲しいものだ。

森川勘一郎の業績は、先年名古屋博物館で開かれた「森川如春庵の世界」展図録(平成二十年)に詳しい。

中笠家の蔵品の、絵画は「中国絵画総合図録四卷」(東大東洋文化研究所)に百十五点載っている。残念ながら書は記録されない。



「森川如春庵の世界」展図録 平成20年



掛幅・明黄道周草書七絶絹本・淇水翁薦事図録 明治27年



令和 2 年 (2020 年) 度 公益社団法人中部日本書道会

行事予定表「10 月～3 月」

※各事業につきまして変更になる場合がありますので、各事業のご案内でご確認をお願いします。

月	日	曜	本 部	支 部 「支部展・支部集会・交流会・講演会・研修会」
10 月	10	土		第 54 回半田支部展
	11	日		〃
	18	日	第 32 回書道教育研修会 (名古屋国際センター)	
	25	日	中日会報 198 号発送 (予定)	
11 月	9	月	令和 2 年度書の匠展・第 29 回壽書展搬入・陳列	
	10	火	令和 2 年度書の匠展・第 29 回壽書展 (電気文化会館)	
	11	水	〃	
	12	木	〃	
	13	金	〃	
	14	土	〃	
	15	日	〃 搬出	第 24 回公開講座 (電気文化会館)
	30	月	令和 2 年チャリティー愛の募金締め切り	
12 月				
2021 年 1 月	14	木	第 71 回中日書きぞめ展搬入締切 (送付時は 13 日 (水) 必着) (予定)	
	17	日		第 6 回半田支部公開書道研修会
	22	金	第 3 回手書き文字年賀状作品締め切り	
	30	土	第 71 回中日書きぞめ展審査 (予定)	
	31	日	中日会報 199 号発送 (予定)	令和 2 年度一宮支部集会・講演会
2 月	11	木	令和 2 年度評議員会・講演会・祝賀懇談会 (予定)	
	18	木	第 70 回記念中日書道展書類発送 (予定)	
	19	金		第 53 回西三河支部会員展
	20	土		〃 令和 2 年度西三河支部集会
	21	日		〃
	23	火		令和 2 年度岐阜支部講演会 (予定)
3 月	7	日		令和 2 年度半田支部集会・講演会
	13	土	第 71 回中日書きぞめ展 (ナディアパーク) 午前陳列・午後展覧会開催 (予定)	
	14	日	第 71 回中日書きぞめ展・授賞式 (ナディアパーク・デザインホール) (予定)	

## 令和2年度 第24回 書の魅力 公開講座

会員及び一般市民を対象に、中部日本書道会を代表する2名の講師が書の魅力について講演します。

11月15日(日)

受付 12:30

開会行事 13:00

第一講座 13:15~14:15

理事

**横井宏軒先生**

演題「隷書を学ぶ」

第二講座 14:35~15:35

顧問

**中村立強先生**

演題「書写書道について」

閉会行事 15:35

会場 電気文化会館  
イベントホール (5階)  
名古屋市中区栄2-2-5

日時 令和2年11月15日(日)

会費 無料  
(ただしテキスト・資料代として2,000円集めさせていただきます)

対象 15才以上で原則として2講座とも聴講できる方

定員 80名(先着順)

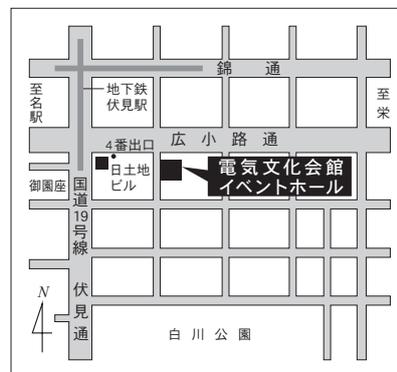
締切 10月15日(木)

申込 (1)郵便番号、住所 (2)電話番号 (3)氏名(ふりがな)を記載し、ハガキまたはメールで下記迄に申し込み下さい。

**ハガキ申込先** 〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号  
桑名ビル8階 C号室

中部日本書道会 公開講座係

**メール申込先** [koukai@cn-sho.or.jp](mailto:koukai@cn-sho.or.jp)



令和2年度 書の匠展 開催 会期 令和2年11月10日(火)~11月15日(日)  
第29回 壽書展 会場 電気文化会館 (5階 東・西ギャラリー)

主催：公益社団法人 中部日本書道会・中日新聞社 後援：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

## 第3回 手書き文字年賀状作品募集

公益社団法人中部日本書道会では、下記の通り年少者~高校生を対象とした第3回「手書き文字年賀状コンクール」を開催します。個性あふれる心温まる手書きの年賀状を奮ってご応募して下さい。優秀作品を本会ホームページに掲載し、入賞者には図書カードを贈呈します。

**応募規定** ・出品料は無料。一人1点のみの出品とし、郵便葉書の大きさに限る。(縦横は自由)  
・イラスト等入っていても可とするが、必ず手書きされたものに限る。  
・筆記用具は自由とし、小学校3年生以上は毛筆(筆ペンを含む)を奨励する。  
・宛名面左側に郵便番号・住所・氏名・学年(年少者は年齢)を明記の上、下記送付先に郵送のこと。

**応募資格** ・年少者~高校生

**応募締切** ・令和3年1月22日(金) 必着

**作品送付  
問い合わせ先** ・〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号 桑名ビル8階 C号室  
公益社団法人中部日本書道会「手書き文字年賀状コンクール」係  
TEL (052) 583-1900

**入賞発表** ・1月末(予定)に本会ホームページにて優秀作品を掲載し発表とする。  
・ホームページアドレス <http://www.cn-sho.or.jp>

# 第71回 中日書きぞめ展作品募集

◆会 期 令和3年3月13日(土)・14日(日)

13日(土) 午後1時～午後6時  
14日(日) 午前10時～午後6時

◆会 場 ナディアパーク2F アトリウム

名古屋市中区栄3丁目18番1号

◆授 賞 式 令和3年3月14日(日) 午後2時  
ナディアパーク3F デザインホール

◆褒 賞 文部科学大臣賞、愛知・岐阜・三重各県知事賞、名古屋市長賞、愛知・岐阜・三重各県議会議長賞、名古屋市長賞、愛知・岐阜・三重各県教育委員会賞、名古屋市長賞、愛知・岐阜・三重各県教育委員会賞、記念賞、中日書道会賞、中日新聞社賞、東海テレビ放送賞、CBCテレビ賞(以上申請中)、名誉会長賞、理事長賞、推薦、奨励賞、特選、準特選、秀逸、佳作、入選  
※会場には奨励賞以上の作品を陳列します。

★本年はCBCテレビ賞以上の作品を中日展(一般部展覧会)愛知県美術館ギャラリー8階に2021年6月16日(水)～20日(日)まで展示します。

◆資 格 幼年・小学生・中学生・高校生

◆課 題 自由

◆出 品 要 項 詳しい出品要項出品目録が中日書道会本部にありますのでお問い合わせ下さい。

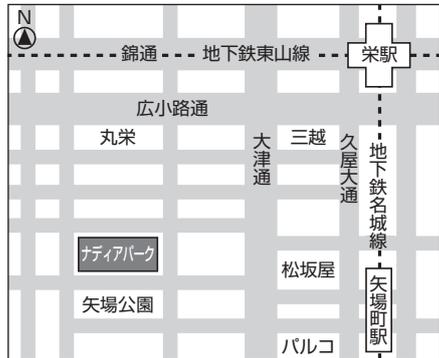
◆作 品 ○用紙は、半切1/4縦(八ツ切)※高校生は半切縦も可 ○作品は、表装しないこと。  
○書体は、幼・小=楷書、中=楷書又は行書、高校生=自由  
○作品には、学年・氏名を必ず明記すること。

◆出 品 料 一点につき400円(個人出品者は賞品、賞状の郵送料として300円を加算して下さい。)

◆搬入締切 令和3年1月14日(木) 午前10時～午後3時  
(送付される場合は13日(水)中部日本書道会本部必着をお願いします。)

◆搬入場所 公益社団法人 中部日本書道会  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号 桑山ビル8階C号室  
担当 教育部長 廣澤 凌舟  
TEL (052) 583-1900 FAX (052) 583-1910

◆取 扱 所 伊藤大林堂、永楽堂、應天堂、魁盛堂、伽藍、菊屋商店、高誠堂、小松表具店、書遊 平野筆墨堂、青柳堂、大玄堂、長楽齋筆舗、名古屋キョー和、名古屋ホウコドウ、松屋紙店



◆あ と が き  
中日会報、第一九八号をお届け致します。  
会員の皆様には、コロナ禍の猛暑をいかがお過ごしでしたでしょうか。まだまだ収まらない状況下、十分にご注意下さいませ。  
本号では、名誉顧問の西嶋慎一先生による当地域文化にまつわる『中京の文化環境』と題しました特別寄稿を頂戴することが出来ました。  
当地域における茶の世界と『かな古筆』『明・清の書』との関わりをお書き頂き、この地域での隠れた名品と高雅な意識の存在をお示し頂きました。閑散とした会報に、花を添えて頂きましたこと、心より感謝申し上げます。  
講演会・展覧会・講習会・チャリティ等、注意を払いながらの開催予定となりますが、宜しくお願致します。  
(編集部)

◆社中展・個展のご案内掲載について  
本会会員による書展のご案内を、会報及びHPにて掲載させていただきます。会報掲載には展覧会案内原稿、HP掲載には展覧会案内ハガキをお送りください。尚、展覧会原稿及びハガキは、必ず封書にてお送りください。次号掲載は、二月下旬～五月中旬開催の展覧会となります。お申し込みは、十二月十五日までに本部までお願いします。  
編集部

◆新入会員紹介(九月份) ●濃飛支部 相田 華鷺  
訃 報  
心より哀悼の意を表しご報告申し上げます。(厚生部)  
○8月7日 理事 加藤矢舟氏 評議員 大島一蕙氏 享年95  
ご尊父 春元様 事後報告 ○9月1日 評議員 鈴木香鵬氏 享年85  
○8月19日 評議員 関戸海越氏 評議員 一三子様 享年99  
ご母堂 智子様 享年87

# 支部だより(令和二年度上半期)

## 一宮支部

### ●第一回部長会

日時 四月五日(日)  
会場 一宮スポーツ文化センター  
出席者 部長会、十六名

今年度最初の会合に於いて、今年度開催の第二十七回一宮七夕まつり選抜作品展(併催・第四十八回一宮七夕まつり学生書道展)〔支部後援〕の中止を決定致しました。

### ●第二回部長会

日時 六月七日(日)  
会場 一宮スポーツ文化センター  
出席者 部長会、十六名

議題、今年度及び来年度の事業について令和二年度の支部研修旅行、実施中止を決定致しました。

### ●臨時執行役員会

日時 八月二十三日(日)  
会場 一宮スポーツ文化センター  
出席者 支部執行役員七名  
今年度の支部展・学生展の開催中止案を検討致しました。

### ●第三回部長会

日時 八月三十日(日)  
会場 一宮スポーツ文化センター  
出席者 部長会、十六名

令和二年度、第六十六回支部展並びに第四十九回学生書道展、開催中止を決定致しました。現況下での行事実施は多難を要する為、次年度に向けてのテーマを次回会合で検討していく事と致しました。



部長会

## 半田支部

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、公施設が使用不可能になり一部事業や会議を中止いたしました。六月以降は一部施設も使用が出来、会議だけは出来るようになりました。

### ●第一回企画委員会

令和二年六月十九日(金)  
半田市福祉文化会館  
議題 支部行事予定(案)の件  
第五十四回支部展の件  
八十一号支部報発行の件  
公開書道研修会の件

### ●第二回企画委員会

令和二年七月十日(金)  
半田市福祉文化会館  
議題 公開書道研修会の件

### ●第三回企画委員会

令和二年八月七日(金)  
半田市福祉文化会館  
議題 公開書道研修会の件  
半田支部展、コロナ対策について

### ●第四回企画委員会

令和二年九月十一日(金)  
議題 半田支部展搬入・搬出業者委託の件



企画委員会



「寿」色紙贈呈

半田支部展目録等について  
公開書道研修会の件

### ●「寿」色紙贈呈感謝状

令和二年三月二十六日  
毎年、高齢者の方の長寿をお祝いして支部役員の色紙を二市五町に贈呈しています。今回、半田市長よりこの事業に対してお礼状を拝受いたしました。また他の各町長からも感謝のお手紙をいただきました。

西三河支部

●第五十三回学生書道展

今年度の学生書道展は、新型コロナウイルス感染症の影響で、作品の展示を取りやめて誌上展に変更して行うこととした。

テーマについては、東京オリンピックを応援する意味で「平和の祭典」と決めた。

オリンピックは延期となったが、テーマは変更せず実施することとした。

出品点数 三七八九点

(うち高校生一七五点)

テーマ 平和の祭典

課題

幼 年 ぐに	一 年	はと
二 年 ゆめ	三 年	日本
四 年 平和	五 年	世界
六 年 友情	中 一	祭典
中 二 笑顔	中 三	観戦
高校生	競技応援	



学生展審査風景



学生展受付作業

東三河支部

●コロナ禍で事業計画中止

中部日本書道展、それに関わる本部の諸行事がすべて中止となり、それを受けて東三河支部も計画していた行事の中止を余儀なくされることとなりました。

まず、三月二十三日支部運営委員会において次の事業の中止を決定しました。

・ 第四十四回中日書道会東三河支部展

令和二年七月十四日～十九日

・ 支部講演会

令和二年七月十八日(土)

講師 理事長 伊藤仙游先生

・ 会員集会、交流会

令和二年七月十八日(土)

さらに、六月八日支部運営委員会において、次の事業も中止を決定しました。

・ 秋季一日研修旅行(講習会を含む)

令和二年十月二十五日(日)

・ 第一回東三河こども書道展

令和三年一月二日～十二日

第一回東三河こども書道展については、一昨年から準備を進めてきており、やっと

開催にこぎ着けた矢先のことで中止するのは残念でしたが、学校現場もコロナ禍で大変な状況であることを考え、やむなく来年度に先送りすることと決定しました。こうした状況を会員の皆さんに知らせるために、会員集会で配布予定だった議案書を七月中旬全会員に送付しました。



運営委員会

濃飛支部

●支部総会

日時 九月二十七日(日)  
会場 中津川市 さるとび荘

今年の支部総会は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、必要最小限での開催となり、役員十八名、委任状出席二十四名の計四十二名の参加での支部総会となりました。

令和元年度事業報告、収支決算報告、監査報告を受け承認されました。次に令和二年度の事業計画案、収支予算案が提案され、いずれも承認されました。中日書道展の中止に伴い、支部行事の支部展、講演会等の中止など例年と比べると事業縮小となりますが、日々の書道鍛錬を怠らず邁進することを確認しました。



総会風景



丹羽海鶴先生書

引き続き、明治の楷書の大家 丹羽海鶴氏の紹介を支部長の三野島凌雲が行いました。要約すると、岐阜県中津川市(恵那郡田瀬村)出身で、幼少より書に親しみ、飛騨高山の小学校で教鞭を執りながら書道の研究を続け、明治二十一年(一八八八年)八月、二十六歳の時、日下部鳴鶴の遊歴に会い、筆跡と見識の高さに敬服し入門しています。さらに上京し、その間、漢魏・六朝・明朝の碑版・法帖を究め、当時、その海鶴流とよばれる書法は、比田井天来と並んで一世を風靡しました。また、精励教職に従事し、学習院・高等師範学校に教鞭を執り、文部省教員検定試験委員となり習字教科書の書風を改革するなど、大いに書道教育に尽くすとともに、多くの門人を養成しています。

北勢支部

支部展 七月十七日(金)～十九日(日)  
講演会 七月十九日(日)

支部展会場、そして講演会の講師先生についても決定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、三月二十二日(日)に支部委員会を開き(十二名参加)、中止の決定をしました。四月末に支部会員への文書発送にて支部展・講演会の中止を報告しました。



支部委員会

残る事業予定「研修会(十一月予定)」と「講習会(令和三年二月予定)」につきましては、七月二十六日(日)、多人数での会合を避ける為、支部次長以上での役員会を開きました(五名参加)。いずれの事業も三密

を避けるのが難しく、又、秋から冬にかけて更なる新型コロナウイルス感染症拡大のリスクを考えた結果、中止との結論にいたしました。この決定につきましては九月初めに支部会員への文書発送にて報告いたしました。

祝

評議員 荒木友梅 先生

第十九回 三重県文化賞

文化功労賞 ご受賞

中 南 勢 支 部

中南勢支部は下半期に行事が集中しており、十月に研修旅行、十一月に支部集会・講演会・支部展の開催を予定していました。この件について四月役員会を持ちました。その頃には役員誰もが新型コロナウイルスの影響はまさかこんなにも受けないだろうと思っていました。順調に計画通り進めて行こうと係りも決めておりましたが、四月が終る頃には三重県内、各催事が中止となつてまいりました。急遽役員会を開催するも、この時点で各行事を中止することは難しいが、本年度は皆様の健康面を考え、やむなく全ての行事を中止した方がよいとの意見で一致しました。六月早々全会員に中止の頁を葉書にて連絡をした次第です。尚、役員会は、ソーシャルディスタンスを踏まえて、携帯電話スマートフォンを駆使しライブで行いました。

- 決定事項
- 十月 バス研修旅行 奈良万葉の里 中止
  - 十一月 中南勢支部作品展 中止
  - 中南勢支部集会 中止
  - 中南勢支部講演会 中止



岐 阜 支 部

第一回 岐阜支部事務局会議  
四月十七日(金) 九時三十分

\*各部より  
・ 研究部

研修旅行の期日と行き先  
期日・十一月予定 行き先・未定  
・ 会報部

支部報五十五号 七月発行予定  
記事内容・総会、講演会  
五十六号 三年二月発行予定  
記事内容・支部会員展、研修旅行  
・ 事業部

第二十六回岐阜支部展開催日  
九月十一日(十三日)

\*事務局より  
総会、講演会、支部懇親会  
開催予定日 六月七日(日)

講師 岐州市歴史博物館 分館  
加藤栄三・東一記念美術館  
館長 山本 真一 氏

五月上旬に開催中止の決定を下す。

五月 岐阜支部会員に「総会、講演会、支部懇談会」「岐阜支部展」中止のハガキ 発送

第二回 岐阜支部事務局会議  
六月十六日(火) 九時三十分

\*各部より  
・ 研究部 研修旅行について  
コロナ感染をさけるため中止  
・ 庶務部 計報報告  
・ 会報部 支部報五十五号の発行期日・記事内容の変更



事務局会議



事務局会議

\*事務局より  
総会に代わって、書面議決での議決の必要がある  
七月十日締切で、書面表決書 (ハガキ) の回収を実施

第三回 岐阜支部事務局会議  
七月二十一日(火) 九時三十分

\*書面表決の結果報告

賛成二三八名 反対0名

未回答八十八名/会員数三三六名

\*各部より  
・ 庶務部

計報報告・弔電規定の見直し提案  
・ 会報部  
支部報五十五号の発行期日  
九月中旬に変更

・ 会員部  
退会者の報告  
\*事務局より  
下半期に何か事業はできないか

継続検討